





た、誰か階段のところ、日本人は居らん  
 かとヒストルをむける。じつとかくれて  
 居る人ですが息がきれるようでありまし  
 た。四日目の朝であった。翌朝九時四十  
 分バンコックより三キロの地点チャイカ  
 ンに戦車隊が入りました。翌朝カミニオン  
 の情報が入りました。翌朝カミニオン  
 に果物すり、煙草握り、飯等を積んで所  
 へ出る。日本人は十一人殺された。この  
 とであったが、日本軍進駐の級をスバイ  
 により、彼らも知って居る。で、とう日本  
 人を見るとき、ニコニコして愛嬌をふりまく  
 と、ふ豹愛振りでありました。

バン飛行場に行くと向もなく第一陣が  
 到着。皆やうれた姿で、吾々日本人  
 は泣いて之を近へたのであります。タイ  
 は獨立國であるから國境を突破すれば、當  
 然戦争が起ったのだ。が、敵は突破して未だ  
 日本はタイ國と手と結ばない。翌日飯田  
 軍司令官がバン首相と會見し、日本は  
 決してタイを侵襲するのではありません。守つて  
 上するのがある。その代り兵力を通過さ  
 せてくれ。食料鐵道を提供して、北宿舎を  
 貸して、水と火を所請。日泰攻守同盟を結  
 びました。それから海軍航空隊のホトバ  
 ルに配属されました。シヤム海を越えて  
 シンガポールの攻襲の爲めにマライのホト  
 バルへ上陸する。一日キを要した。當時  
 海南島にありた我兵力を七十四隻の輸送  
 船団で送る部隊は、近衛、熊本、廣島、道  
 路と南にとり、二月十一日シンガポールの  
 道に上陸した。ホトバルは物凄く鉄状態を  
 進み、地雷で爆破しては、飛び込んでは、  
 こっちも地雷で爆破しては、飛び込んでは、  
 て突撃路を用いたのである。実になまや  
 さしい作戦では、なかつた。ホトバルから  
 重傷機にのって、毎日八日、七時、同位船団  
 を襲撃した。敵地から打上る高射砲は  
 三百米以上、破片がとんで来て、機体に穴が  
 あく。空中戦をやると、時は八分は度胸であ  
 る。見物の私にはもうやられるか、と心  
 身ともに疲れてしまふのであります。毎  
 日このようにふことが続いて八日目には血が  
 のぼって、いふことが、今度には、夕バキ機と  
 いふ上機にのって、四日間、空中よりの食料  
 補給、又は爆撃を見て、ビルマのランタン  
 が、降りました。シヤムのシムラから山田長  
 政が、首を放されて、ランタン、シヤム、  
 死んだといふ百事のあるところ、です。

海軍の特務艦に乘船し、静かにシンタラ港  
 まで、南方に向つた。シンガポールの近  
 づいた頃、英機が現れ、水空襲をうけた。が、  
 鳴ったので、やられるかと覚悟したが、未だ  
 かつた。その代り、敵潜水艇から魚雷攻撃を  
 受けた。艦長は直ちにジクサカコー  
 スにうつつた。ので、辛じて助つた。い、  
 シンガポールの附近のある海濱に停泊して  
 居ると敵機に見つかつて、爆撃されたが、

百キロ爆弾であった。から、よかつた。魚雷  
 を受けて、いた。襲の毛一本も残らな  
 であらう。敵機は二十分、あきには、爆撃に未  
 る。私は、後、甲板の方に居つた。か、三度目の  
 爆弾が落ちた時、外にほり出され、水でしよ  
 った。一生、命に泳いだ。この辺は、海蛇  
 が多いので、噛まれては、たまり、んと思つて  
 夢中で、手足を動かして、いた。三時間、向する  
 と、只今、占領と、い、通知があつた。小艇が  
 来て、海中に、ほり出され、水で泳いで、ゐる。人、同  
 き、拾ひ、上、始、めた。疲れて、死にか、つて  
 ゐる。且、に、強、張、れ、と、は、は、ま、い、私、も、遂、に  
 辛、じて、助、かり、ま、した。

スバラシイ 景品

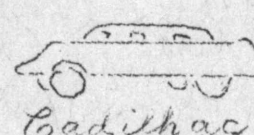
- 10 最新型高級車 カテラック
- 20 ジャット五〇〇号 快速高級車
- 30 レナウート 高級車
- その他二〇二番迄 賞品附
- 抽籤は、サンジョンと、ナタールと、二回
- 最少十針宛、お買物を、な、さ、つ、て、も
- 六百針 毎に抽籤、入、券、一、枚、差、上、り、ま、す
- お買物に、一、人、と、楽、し、み、が、つ、ま、す
- 運のよい御方は、その他
- 40 冷蔵庫
- 50 ラジオ 附、テレビジョン
- 何が、あ、た、か、判、り、ま、せ、ん

どうぞ 御買物は

**バザール**

フレシエンテ バルガス街

**村**



Cadillac

汲汲した船には、次山重要な物もあり、上等  
 の寫真機もあつた。が、何人にも、無くなつて  
 しまつた。が、身の安全が、到ると、人間慾の出  
 るもので、欲しく、な、り、ま、せ、ん、で、し、た。私  
 は、海、に、墜、落、す、る、時、打、撲、傷、を、受、け、た。の、で、サ  
 イ、グ、の、病、院、へ、後、送、さ、れ、五、日、後、日、本、へ、帰  
 還、す、る、こ、と、に、な、り、ま、し、た。

バンコックに居て、一番、感、心、し、た、こ、と、が、一  
 つ、あり、ま、す。戦争が、終、つ、つ、と、英、米、オ、ラ、が、  
 ●國々の人は、全部、英、公、使、館、に、入、れ、ら、れ、日  
 本、兵、は、勿、論、一、歩、も、入、な、か、つ、た。建、物、の、周  
 圍、は、機、関、銃、を、以、て、警、戒、し、門、に、は、印、度、巡、査  
 が、ハ、ス、トル、を、持、つ、て、立、つ、て、い、る。  
 我、兵、が、印、度、巡、査、に、交、渉、を、し、て、英、領、事、を、  
 入、で、来、さ、し、た。公、使、館、に、上、つ、て、ゐ、る、英、國  
 の、國、旗、を、降、し、て、笑、ひ、度、い、と、談、判、を、し、た  
 (以下、次、号)



バストス産業組合  
組合長就任のことば

畑中 咄 雄

十九年の大災を有し、全盛を極めたバストス産業も事業大拡張と、養蚕の不況、嘗ての上に組合の大黒柱的存在であった播部さんの時局の犠牲になられてより組合の財政は大恐慌を来たし、人心の揺かでないた當時をしのぶ時、吾々バストス人の胸に迫るものがあります。

此の最も経済難に遭った組合に家族の反村を押し、組合の重職に就かなければならなかつた父、その子である私が不在中に皆様方より組合の重責を仰せつかりました。過去に於て組合に縁遠い父子が組合に藉を置くのも何かの因縁でありましょう。

父はともかくと致しまして私は全然経験も手腕もなく複雑極まるバストスに於ける組合でありますれば、その責任たるや重大且つ困難であると痛切に感ずるのであります。前任者方の努力に拘はらず、組合の財政は決算報告書の通り依然として経済難であります。

養蚕部は種々の事情により暫定的に中央の監理下に置かれ、購買部は休閑情態に在り、組合の唯一の事業面は棉花部が既にコアラに入りつゝあり、此の部門で成績を挙げなければなりません。

組合員方の未得る限りの御協力により負債が合法的に整理出来ずれば、皆様方も安心して組合を利用して下され、私共も不安なく職責に励み実績を挙げることが出来ます。

尙大資本を投じて建設されたバストス産業組合、會館も今では一般に利用されてバストス會館の觀があります。此の建物が存する限りバストス組合を忘却することは出来ないう。

現在バストスには農村に對して便宜を計りつゝある健全な組合が沢山ありますから、つづれかかった組合も必要ない、いつそ解消して一歩といふ声をきくことがありますがバストスに於けるバストス組合でありますれば、それも余り打算的で情けなく悔いこのことばがあつてはなりません。

何となれば組合の衰微は當時の役員のみならず、責任ではなく、吾々組合員にも一端の責任

が無いとは言はれませんが、

バストス産業組合といふ建立からして、も対外的にバストス農村を代表する立場にある組合の更生如何は、バストス人の面目に關することであり、將來バストスの繁栄に影響する所甚大であると信じます。

現在の有様では邦人側の協力は望みがたく、バストス部の財政の大半を賄つて居るにも拘はらず、あらゆる面で邦人方は不利な立場に甘んじなければなりません。

私共今回土聖致しまして、ドドールピオはじめの中央会の方々の絶大な御支援あることを知り、私共は誠心誠意努力することと盟ひました。多少なりともバストスの為めに働かざらぬと存じます。皆様方の厚職を御意見を承り度く思ひます。

何分私は此處育ちであつて物事を率直に考へず、或は極端になりがちで、至らぬところが多しと思ひます。その点、嚴重にも御容赦の上、種々御鞭撻下さる様、御預りして就任の御挨拶と致します。

非常な決心を以て、熟慮数日遂に組合長と引受けられた畑中咄雄氏は、前々組合長畑中仙次郎氏の長子、まれに見る人格者である。咄雄さんと知り立てよの声は期せずしてバストスの内外に起りつゝある、好漢す、様と云つて呼号呼絶されよ。(編輯者)

生長の家 修木先生の

講話を以て

新津 牛丸

何事も善きにゆかりの種まけば

やがてさちある実さ

結ぶなり

神なる佛なるにわれよとは

善きに導く御諭しにて

古電柱 多数あり

競賣致します

石橋



# 教師を求む

左記の条件で日語教師を招聘致します

場所 パウリス夕延長線

生徒 約六十名

給料 或三ツツエ

住宅 支給其他優遇す

希望の方は御来談下さい

姓名在社

週報社  
中同舎下さい

# セメント

有名なセメント

保証正一いセメント  
保証つきのセメント

蔬菜業各位には

特に卸値で差上げます

セメント

# 古沢商店



# ★ヨシボ日記 7

前号よりのつづき

いらいラゴアではあるが遊園地にするとしても相当金がかかる。客を引くとしても遠すぎる。惜しい哉。経路距離圏外とふところか。

「水が少しきたないようですな」

「よんべ雨が降ったから濁ったのでしよう」

「どうです、もう一度澄まして見ませんか」

「そむすすア」と旅館主は氣を急かす相違返事をし

又下雨くるらしく蒸々と暑いことに水辺のいさはひひかかった。

ダンスの好きな人種。天然の美にあまり関心をもたない人種。人間は、あゝの種族があるものだ。

二月十日

# 雨中水浴の図

キロンボの噴井は家根をかぶせると薬効がある。さし一噴かなぶる。これみなテウスのマンタによるものなりとさすがニウスの國だけあって野々天浴場板垣をめぐらした。けや文句と云ふ人。悪い相である。噴音が来て私が入浴するとさっから値いてわた雨雲の口が破れてホッとやって来た。隣りの浴場は女連うしく忽ち悲鳴を上げて脱衣湯に逃げ込む氣配がする。慌てなくとも、どうせ裸だから、これ以上濡れようはない。雨に打たれ下り、おぼやっていると大きなサッポがまきれこんで胸の辺にホカンと浮いている奴。サッポとはかり板き手を切つて、捕へようとする。水中の格闘ではサッポの中々敏捷で、こちらが考つていこうた。十分回二針の入浴料だが番人も此の雨で逃けてしまつて、この道も扉を明けくれないので、雨中悠々水浴の図をやつた。三十分も立たぬうち腕も太股も膚一めんにかツ、いが出米ていまった。

二月十一日

夕方である。例の如く食後散歩から六畳米の道をなる可くゆつくり歩きながら浴場へ行った。今日の湯番は山内のおかみさんで四人の大男を相手に何か盛んにまくし立てている。浴場は二つとも塵がたつてゐるので腰かけてみる。まだやつてゐる。「そんなにババがするのガ、ンゲトなりバインホーラ」

「だてまた大時一寸過ぎたばかりじゃまいか、一針増しとはベラホーだを」

「ベラホーでもコン棒でも十時から十八時迄、コレ左ワイエが決めて、わしは契約の番人なんだ。時間未だらシャワーかけてさっさと帰つてさしつかへねえだ。時間外を承知で来る人にも一針よけいもらふんだ。何べん同じこと云はせるんだ、オタンナン奴」

「オタンナン、何じゃそのオタンナンチウクは」

「さきわけの奴のこゝオタンナンつてフランス語で云んだ。へすく野郎の！」

「さき捨てにやうん 民家へ訴へるゾ」

「いふのバガタにならうア」としく訴へると、規定の料金と拂ひのがいやな奴はバインホーラだ。他の三人の男は感心したやうな、せぬやうな顔でさき見て居た。

「ジャボネーがだと思つて、本めるナシ。今迄ホルトニスで喋つて居た、おかみさん、よほど腹に居えか収たと見えさうく、日本語でタンカを切つてしまつた。喧嘩は遂に物別れになつてしまつた。アツクまひれう浴衣は帰つて来た。

それにしても時間外一針増しで口角定るとはさなくとも入口に書いて貼つてあきやア世話はないのかと、かく葡語が上手だと口にしたよりする。

「わしらは時間外手当て充分に払ふから入水おくれよ」と私がいふ。

「そりやア日本人同志だもの、そんなこと云はないで」



おもしろくても入れて上げますよ。重慶外交、ハナク外交、女と梅るとテッポウ食ふこともある。私のように何でもシンシヨウでもいかにし、時には女板顔で、お現世面白い、せはさま〜である。

二月十二日

ところでエキゼーマの経過報告が、いとおくれてしまったが、こいつの中を面倒にて、これがさうこと、ほほりんばかりに下つぬ日記といつ追もつづけなければならぬ。エスパーニールといふことは、まことだらうが、エキゼーマのエスパーニールは、困りものである。チアスとかロクマクといふのなる打つ手も多かりし同情もあるが、エキゼーマといふ病氣は、実際つまらん病氣で二度とするものではない。十日も居て効果がないとすれば、いよいよ二三日中には出聖と決めたら、同宿の人たちが、見ちがへる程さうなつたと云ふものだから、鏡を見ると氣のせいかもしれぬ。病がうすくなつたようでもある。

こゝろで私が療養経過と公開する所以は、同病の人達への参考と、もう一つは、樂局経営者諸氏の同病に対する認識と研究とを要望したる爲である。エキゼーマは種類が多く且つ患者の多いことと、今度始めて知つたが、罹病の原因は傳染ではなく、内臓疾患又は血液の異状から起るフキエモノ一住でバクテリアの作用ではない。薬局からはおこられるかも知れぬが、市販の注射薬では効果が無い。早期にエキゼーマと知つたらうすくキロンホ、にやかれる可し。一対七八回根治よく入湯して見給へ。早期の人より一週間位でなほる。

手おくれにやつたら、聖市の事同様にたのむ可し。血液検査をしてその人に適する注射薬を作らねばならぬ。根本治療をせぬとは、冬期に一時治つても夏になると又々再発して、朝鮮戦線のごとく長期戦に入ると夢うたがいなし。私は馬鹿だから此の位のことしか書けぬが、誰か手同の方又は薬品に対する知識の深い人からの御意見をきくことが出来れば、同病患者の人助けになると思ふがどうですか？

サンタ テレジンニア 福 瀧 裁 縫 女 學 子 校

フベニース パウリスタ 幼稚園 上隣 前

科目 普通科 六月 初心者も可嘩  
速成科 三月 にお取り扱います  
研究科 陸意 いつのうかも入學受付  
料理講習 全

寄宿舎の設備完全

御免を蒙り 勝手放談義

しゃべる人

- 1 浦 惠 樹
- 2 溝 口 敬
- 3 時 川 一
- 4 渡 部 幸一
- 5 渡 部 幸一
- 6 時 田 春 音

筆記

三月十六日夜 週報社サロンにて

1. たい分此頃自治會のことが噂されるようになった。居るが、遠慮のないこと、やつてみるか  
2. 自治會になにかあったのか  
3. ワー、パウロは何も知らんのか、こりアあかんぞこに週報あるなり、もつて来てよませせてやつてくれ

4. 腸山さん時代からさ  
5. おれはまた、石橋、霜出、株式會社かと思つた。たんばだ、それでもおれは日本人的団体として自治會の必要を認めるね。自治といふことは、文字そのものからいへば、自分たちのことを自治たうである。ことだ、必ずしも自治行政といふことは、行政的の面に自治精神を以て協力することなんだ

4. しかレフルルには、さういふことはないと思ふ  
3. いや、フルルの地方行政面に地方が協力しないてどうするんだ、まア日本人が多く住んで居る地方で合法的に団体を認めたらうて、會を作ることは、現在のコリアではまだ、必要だね、日本人間のつながりとしてでもよ

5. 組合に加入して居れば、事業面では緊りがあるが精神面を連絡、組合とは別行動さが必要だ、それを自治會と名付けているんだらう、バス、自治會はドクメン、ばどうなつておんだ

3. 石橋さんは、登録をいけると、ハッキリ説明していたよ  
4. それはこうなんだ、バス、自治會は、バス、友の會といふ程で、ツギ、セカンド、カルトリヨに、登記がある、ところが、外国人団体は法的に認められんから、主體部は、フルル人(子連)にやります

しかし、その団体が、入夜病院を、給養しようといふことをしようと、衛生局に登録しなけれは、バス、ポイントや、と、体育局に登録せねば、バス、といふように、其の筋、の、一、ク、一、の許可があるの、や、や、こ、い、んだ、

5. 一寸まつてくれ、今、登記されている、たね、登記は、所要の金、へ、出せば、カルトリヨは、登記してくるよ、登録は、されてないかね、つまり、主體部の許可だね、認可された団体であるか、ないか、といふのも、此、際、問題になるね、(次頁)



# バストス聯合青年団 主催行事決定

三月廿八日佐野食堂に各區青年團役員集  
合左の如き打合及決定を見た。

一 本年度全伯青年並 女子陸上大會が  
来々七月十八、九 兩日に亘りて 聖市イエラ  
技場に於て執行され。

一 右大會に出場する為め汎。パウリスターの預道  
を挙行する

期日 五月廿一日 於バストス・カンホ  
之れに先立つて

A 期日 五月十日 午前八時開始  
B 種目 (例年に準ず)

青年 全種目  
少年 百米、三百米、千米、四×百米リレー  
四×三百米リレー、走高、走中、三段  
棒高、砲丸、円盤、槍

女、青 百、二百、四×百リレー、走高、走中  
砲丸、円盤、槍  
少女 五十、百、四×百リレー、走高、走中

C 出場資格 少年一九三六年生以降  
少女一九四一年生以降  
D 出場種目 一種目に三名迄、一人三種目  
但しリレーを除く

E メンバー 提出、四月十五日迄に縣青年部に提出の  
大会出場に槍投げは槍破損の際前試技に  
りて決す

F 参加費、出場の如何を問はず一支部百五十  
針免、メンバー提出と同時に持参すること、  
G カンホ整備、コミンムニバルを煙はし、都合によりて  
本部より通知を發す

H 出場チーム決定、アルト、カスカッタシヤカス、カ  
リヤエ、カリアア、ウニオン、リノホリス  
未定、中央、ボンズ、サウス、フロカレツ  
以上

## 勝手放談のつゞき……

4. ニ世の名に於てあるから、いのだ、外國人の団体は悉  
善公益を目的としたもの以外に認められん、自治会が  
もと夜警をやっていたが、あれも既に定款を變更  
してゐる。夜警は警察がやるものだが市民が之に協力  
する標に今はなつてゐる。

病院の件でも、えは自治會が衛生部門を設置す  
ることがあるといふ程度の條項だったから、そい  
ふ点で、かう扱例が不備を指摘したものと僕は思ふ。  
實際問題として病院が産業組合経営の手から離れ  
て以来、どうにもなうぬ時期に病院を中心にして何と  
否人間のまとまりをつけたりは自治會の功績とい

つてよいであらうと思ふ

アサイでは、自治會のように何でも手を出す団体と  
いふものは實際には無い。それだから、自治會が登  
録されていふとか否とかでワシ、いふことが部内々々  
で主管廳の許可が得られるのだから、必要とするの  
都度申請することにやるんだ

法的には中々六ヶ敷いね  
アサイにはアサイ青年聯盟、北パ青年聯盟、  
アサイ青年會、聯盟クラブなど幾つもあるが、  
れていふようです。何々會長などいふが、  
てくる(笑) ウニオン、左ラッソ、リレー、ト云フ  
様な言葉を用ひていふ

4. 自治會でも、之を法的に完全なものにするこ  
は六ヶ敷いね、考へ方もよほど改めんやう  
5 結局心の内の問題ではないか  
ハ、此迄各區の意見は、区長の意見として自治  
會にもつて来た。ところが、合度の中央の役員も  
は何も知らんと言つたといふことだ。石橋さんが中  
央区をどういふ風に扱つたとすれば惜しいこととし  
たものだ。

5 自治會副會長の意見、即ち味野の意見はカ  
カスカッタ区の意見と云へる、しかし中央にはそ  
れがなかつたといふんだな。ワンマン首相だ  
え、石橋さんはあれだけ骨を折り難儀をバストスの  
為めにつゞいて尚且つ悪く言はれる、惜しいものだ

4 中央の新役員が知ると云ふのは當然だ、  
え、中央区の意見は中央の役員から来たが、  
何しろセツン中心主義をたかひな、  
3. そういふものは石橋さんも及有して中央の事  
き身重すべきだね

5 昔は、樂であつたらう、かう扱さん産業  
組合さん、あつたらう中央区長もやりよかつたよ  
誰かね中央区長は、田中さん、櫻さん、後藤  
さん、佐藤福太郎さん、死んだ上田さん、石橋  
さん、もう居ないか、誰か一番よかつたか人氣投票  
さやつたらうか

0. 賛成々々  
5 おれは石橋オツヤさんに一票  
え、おれも一票、エライと思ふ、エライ時代をやりと  
うして来たといふんだ

4 皆が逃げ勝つにまじ世話をす者か、なかつた時代  
3. 敗戦ハナチのハナを押へたところがえらい  
5 石一今や何故人氣を失ひつゝあるか、一つ、ほり  
下して見よう、誰かメスを入れる者なきや  
3. あの勇ましかった時代、批判力の無い時代には  
は、緩衝地帯にあつて采配をふつていたとも見  
られる、又さういふ時代には、さういふ時代向き、



う英雄が出るもんだ、時代がおさまってくる、たゞ自分だけの感情で押し切ろうとするのは無理だ、いわゆる長の長たる所以ではないね。

5. ボトを作つて附近の繁栄を計ろうといふ時代だから、それは及者しなればいかん

2. 傷は人間的に視力を感するね

3. 一人一人がまるめられる方が早い、まるめるといつていたが、

5. 区長は詰らんかも知れんが、バスター全体を考へて行動した点はまういよ、バスター中へん物考へ行動した点では彼の右に出づる者なし

1. うんとほめていいね

5. 彼ツリオ大統領の治下で伯玉民を義の動きと見ても、それが確実な方向と示している、石橋さんがそれを知つて居ればえらいよ

3. 彼にはそれは出来ず、そこに愠みがある

5. 次にやる者は必ずその面を補ふ様になる、人間の社會とはそういふものなんだ、

5. いや、石橋さんにはそれは出来ず、調子と合せれば物さしだ

5. 所で會長の任期は、(六月止といふ事あり)

5. 区長の互選といふ話だ、所と区の中心は車の両輪か、まゝ石橋さんと奉つて中央区を中心とし議と進めてくれといふ話であった、医療組合の二

とかり定款改正の相談は先日はなかった

5. リーアの団体があつた、二、三数年経てりリーアを大なり小なり買つてゐるではないか、たれも自衛

の任事でないなどと言はんではないか

5. 都合のよい時は利用する、都合のわるい時はくさす、そんなものか

5. 今度特と發足するとして總會の必要あり

4. 何もかも、一切皆の責任ではないか、石橋氏一人の責任ではない

3. たたかれるだらう (誰か、一、君がかま)

4. 自治会は我々の代表機関として尊重しは協力するようにはしたくないものだ

5. そう、機関を確立すること

1. かい分らば、たぬ、もう上時、もうよからう、(う)

木陰三月号入選句 バスターの部

仰向して餅食ふ牛のをかしけれ 渡辺きや子

修養談聞きゐて眠し燭燂舞ふ 吹本菊子

ぐらつて平製の卓よ、鮎を巻く 山本和枝

西日七月に上席近く出りけり 渡辺チエ

上地實りの雨期籠りなる賭博かな 渡辺ハツ子

### キリスト死に給ふ

今年四月三日がセマナサンヌ

四月三日、萬愚節といふ、エペソフル、四月馬鹿とも云ふ、まじめくさつて友人をだま、あとで大笑いをするのだが、面白半分にもやる人もある。

日頃さちん、と一仕事にたづさわるものは一年に一度位、そんな冗談をしてもよいかも知れん、一年に一度、吾々は聖週を迎へ、キリストの死について考へる位の余裕をもつてもよくはないか、

キリストに信仰はなくともキリスト教国、フランスに住む以上キリストに對して、今、熱悪智であることは自慢にはならない、新約聖書中のマタイ、マルコ

人間キリストは十字架の刑死にのたうちまわる苦しみなきもので居る如く見える、生きて居た間は怒り、常人と共に衣食をいたであらうか、槍で突き刺され、は非常な苦しみであつたに違ひない、三年間布教に従事して多くの法敵によつて

作られた暗牢にかかつた様を、悲慘な最後である、聖書を讀むと見てもキリスト刑死の場面は、奇蹟は遂に起らなかつた、逆ひキリスト運命を背負つて一人の殉教者として殺されてしまつてゐる、

二、三がキリスト教の一番大切な精神であるといふ、かかるが故に二千年後の今日尚善男善女がキリストの死をいたみ、キリストの血を尊び

此の世の自己の不運も不幸をも、さぐさめるよすがとするのである。

キリストがあのやうに悲慘な血を流さなければ、世界十億の基督教者は、もつと弱いものであらう

四月三日夜八時、あ、キリスト死に給ふの悲心曲き、コレネットに合せた一団、中心に約一千数百人の相人(日本人)も勿論多くまじつてゐた

が、は前頭キリストの聖体と昇り、列となり、聖歌を歌ひ、悲曲に歩をゆるめ、野辺の送りをした、手に手に、燭燂をかぶし、とほ

と長い行列がついた、

一年に一度、こうして自己を反省とする尊き刻をもつ習慣は、美しくもまた、恐やまらざるものである。

。祭送の行列長し受難節 多吉

金銀の香爐燭台百合白し 佐藤耕雨

風邪を運者に行く我を叫ぶ婚婦かな 時川一秋

暑に耐ふか、タシ、他、贈へり 浦天納言

蟬の樹に石磔、野良、豊後 井手園天子

大試験すみなる子等に取はゆる 阪東春歩

松籟にふられ晝寝、さめぬなり 織田糸音



新綴り方教室

日米二世の日本語がどん／＼夥のうすく  
なつてゆく時、中には父の國語を知る  
うとしてカッコ／＼勉強している一団もある。  
次の一文など事若き女性の作品だが、坦  
々と紳士本流はうぬ致法に雄力と愛憎の  
ものがある。

フ・フルネンテの思ひ出

内、フロロラ

懐しいフルネンテの地を去つて早や一年半の月  
日が夢の様に過ぎてしまひました。彼の地には  
ほんの二年ばかりの滞在ではありましたが、私にとり  
ましては思ひ出深い第二の故郷とも言ふ可き地で  
ございます。彼所には私の姉妹達及び親戚の方  
々が大勢住んで居られますので、一そう慕はしく思  
ひます。フルネンテ市は奥ソコの都と言はれてゐる  
だけに其の面積の廣大なと建物の立派なことな  
ど、とても大したものですが、其の頃もいふ發展して  
居ますでに十幾階といふ建物が出来上つたつあり  
ました。ルアははたアスファルトで敷きつめられて  
居ます。見るからに立派な街路をシヤレッツが轍台  
もカワ／＼と走つて通ります。中央メルカドといふ大  
したもので朝は三時頃から開き、七時八時頃にはもう  
野菜屋々入達は各々そこをしまつてルアを賣り  
歩きます。当時すでに六十何軒といふ野菜屋々  
への敷に廻つて居ました。

そうした所に私達は所から少し離れたシヤカラを借  
りて野菜作りを始めました。その頃はまだ父も元  
氣で荒地の開墾に若い者を買付けひと一生果命  
を働いて居ました。思ひ出すと今も父の鍬振る  
姿が目に見え、どにか元氣で帰つて来はし  
ないかといふ氣がします。

始めはほんとうにひどい荒地だったので畝作り  
大変でしたが二ヶ月もするとほつ／＼と野菜が  
出来ましたので私は姉と二人でセスタをさけてルアを  
賣つて歩きました。始めはなんだか寂かしくていやで  
したが、だん／＼なれてくると面白くなりました。当時  
は野菜の直販も安く、それにセスタで持つて歩く位  
知れたものです。わづかな収入ではありましたが毎  
日の事ですから、ほかになりません。でも今考へると  
よくまああれだけでやって来たものだと思分作の感  
心します。私達は毎日々雨の日も休まず出かけ  
ました。野菜屋はほんとうに朝晩の忙し仕事です。  
日中は畝の手入れをしなければならぬので中々  
休むひまもありません。あの頃の事を思へば現  
在の仕事はなんとのんきで楽なくらしでしよう。

世の多くの庶百姓さん達は忙しくなると日曜日も  
休まず働きます。ましてはたぐさんのフレキス

持った野菜屋さんは日曜日もしじつと休  
むことが出来ません。及つてそんな日がよく賣れて  
忙しいそうです。けれども私達は小さい時からと  
んなに忙しくても日曜日は休みを守つて来ました  
ので、この日はいつも教會に参ります。その頃一  
番楽しかった思ひ出は一功の仕事や思ひ出の  
らいがりはなれど皆で教會に集り共に讃美  
歌をうたひ共に礼拝して神に祈り、共に語り合  
ふ時、その時こそ一番楽しく嬉しい時なのでした。  
長年の無理がたたつたのでしようか父が病氣にな  
りまして、もう手のかゝる野菜作りも出来なくなり、  
突然こちらに移転する様になりました。沢山の  
野菜をそのまゝ置いてくるのは惜しい氣がしまし  
たが、近所の方が引受けて下さつたので、名残りを  
惜しみつつ彼の地を去りました。  
今思ひ出しますと彼地はここよりずっと氣候の  
よい所です。此方に移つてから私はとても弱くなつ  
た様に思ひます。いつもかぜを引いたり、お腹を  
こわしたりします。一つは仕事のかつたせいもある  
りかもしれません。田舎で大きくなった私はやはり百姓仕  
事が身体に適して居るのでないでしようか。  
フルネンテの思ひ出は次々と走馬燈のように私の  
心ざんけめぐります。(をわり)

此種綴り方落果場裁分薄謝を呈す……

特望の

カガワ  
トヨヒコ先生

来る四月十四日 御来植

午後二時 青年団諸氏へ講演

但し一般の方へ 御入場下さつてよろし  
一般席は中央より後方のこと

午後八時 一般 御来聴 歓迎

と云ふ皆さん日本が生んだ世界的の偉人  
巨つ聖者と謂はれる賀川先生のお話  
を一人でも多く聞かれますよう御案内申  
上げます

後援

- バストス 自治会
- バストス 中央區会
- バストス 聯合青年団